

神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第116号(通算)

令和5年9月8日(金)発行

2学期が始まり一週間が経ちました。毎日の体育祭の練習で、もう夏バテ気味?になっていませんか。明日が本番です。もう少し踏ん張りましょう。でも、通常と比べると暑かった夏が、この時期になっても続いています。熱中症予防対策は万全ですか? 今夜は早く寝て明日の体育祭を思いっきり楽しみましょう。勝ち負けにこだわりすぎないことも大切です。みんなの笑顔が溢れるような体育祭にしましょう。体育祭が終了し、お彼岸を過ぎると、涼しく過ごしやすい秋が訪れます。四季のある生活を実感できるいい時期です。皆さんも回りに潜んでいる秋を見つけてみませんか!



ふうりんの小径マルシェ

令和5年8月20日(日)

今年も南九州市観光協会主催の『ふうりんの小径』が南九州市内各地で行われていました。この日、知覧の藤棚公園ではマルシェが開催され、ボランティアで4名の生徒達が参加していました。



新ALTダミアン・パイニ



【8月2日鹿児島空港着 西教頭と一緒に】



【9月1日新任式】

新ALTのDamien Pini先生は、オーストラリアから来日され、川辺高校と薩南工業高校のALTとして勤務します。大学時代に日本語を学んだ経験があり、少しだけ話せます。積極的にダミアンに語りかけて、日本のことや鹿児島のこと、そして川辺を紹介しましょう。

8月の美術館巡り

令和5年8月15日(火)・17日(木)

【吉井淳二美術館】(南さつま市)



終戦記念日の午前中は、『平和へのメッセージfrom知覧』スピーチコンテストに出席し、午後からは美術館を訪問してきました。一件目は、吉井淳二美術館です。「緑の中の小さな美術館」は南さつま市の加世田アルテンハイム(介護老人福祉施設)の隣にあり、鹿児島出身の吉井淳二画伯の作品を中心にオリジナリティに富んだミニ美術館です。展示中の作品を写した写真は撮影できませんでしたが、気軽に訪問できます。皆さんも近くに行くことがあったら、ぜひ見学してみてください。

【児玉美術館】(鹿児島市)



児玉美術館は、「樹々と語り、名画と語る緑の中の美術館」というキャッチフレーズで開館し

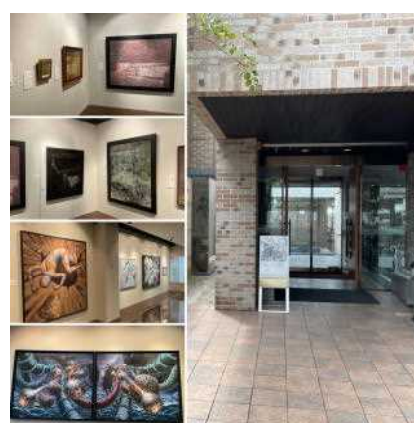
た美術館です駐車場から少し樹々の緑の中を歩いていると別世界を訪問しているかのような感覚が訪れます。竹林の中には、あちこちに個性的なお面が展示してあり、もののけ姫の世界を彷彿させられます。鹿児島出身の故大嵩禮造画伯の自宅アトリエを一部移設したものや作品に加え、海老原喜之助画伯の遺品として大嵩氏に送られた中古の古いイーゼルもありました。個性的な佇まいの美術館です。

【鹿児島市立美術館】



市立美術館では、この夏の企画展「夏フェスタグチアートコレクション」が開催中でした。現代アートをじっくりと鑑賞するよい機会となりました。宿題だったのか、多くの中学生がメモをとりながら熱心に作品を鑑賞している姿が印象的でした。

【三宅美術館】(鹿児島市)



谷山にある小さな美術館です。かごしま総文との協賛企画である「そらと大地」も開催していました。所蔵作品の中に、鹿児島出身の海老原喜之助画伯の絵があります。

※これらの美術館では、鹿児島出身の偉大な画伯の作品にたくさん出会えます。